



しゃけっくま

海老名市立杜家小学校 学校だより 284 号 R7. 6. 30

Shake っくま



子どもも大人も
笑顔でつながる
あたたかい杜家小

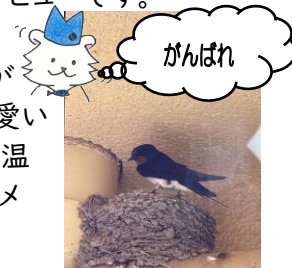
杜家小に、可愛い仲間がやってきました！

近隣の幼稚園から、2月生まれの可愛いウサギがやってきました！とってもおとなしい男の子で、飼育委員会の子どもたちが、優しくお世話してくれています。暑さに慣れていない子なので、職員室前の廊下で過ごしていますが、のほほ〜としている姿に、大人も子どもも癒されています。気になる名前ですが、先日、飼育委員会主催で全校から応募した結果、**ビスコ**に決まりました！先輩ウサギの**オレオ**とともに、杜家っ子のアイドルデビューです。



ビスコです。
よろしく
お願いします♪

さらに！西昇降口の入口に、ツバメの親子が引っ越してきました。口を開けて餌を待つ、可愛い赤ちゃん雛の姿も見えます。巣立ちの日まで、温かく見守っていきます。子育て頑張れ、親ツバメさん！杜家小のみんなが応援しています。



暑さへの対応について

毎日、体が悲鳴をあげそうな暑い日が続いています。それでも、子どもたちは、朝休み、業間休み、昼休みと、外で元気に遊んでいます。その姿を見守りながら、熱中症を心配している日々です。先日、海老名市では、「熱中症予防ガイドライン」が策定され、暑さ指数に応じた教育活動を今後も実施することを周知しました。本校でも、基準点となるPOTEKAの実測値をもとに、外遊びや校庭体育の実施の可否について、判断をしているところです。各学年ともに、体育の授業は安全第一、短い間隔での休憩・給水、運動時間の短縮、激しくならないように活動内容の見直しなど工夫して実施しています。

熱中症は、重症になると高体温に加え意識障害がみられるようになり、けいれん、肝障害や腎障害も合併し、最悪の場合には死亡したり後遺症を残したりすることもある怖い病気です。学校でも注意を怠らず子どもたちを守ります。ご家庭でも、目の届かないところでこそ熱中症に気を付けるよう話をしていただけたいです。大切な子どもたちの命と健康をともに守っていきましょう。



【学校での取組】

- ◎POTEKAによる暑さ指数の確認と屋外活動の判断
- ◎教室が18～28℃となるような環境管理
- ◎屋外活動での着帽の徹底
- ◎体育等での休憩・水分補給時間の確保

【家庭で取り組んでほしいこと】

- ◎バランスのよい食事（特に朝食、昼食、夕食）
 - ◎十分な睡眠時間を確保
 - ◎登下校時の着帽、保冷用品や日傘の使用などの対策を講じる等。
- よろしくお願いします。

7月の主な行事

- 1日（火）B5日課（学期末短縮）
タクト来校日 お話会（図書部）
- 3日（木）4年防災センター見学
- 4日（金）PTA 給食試食会
- 8日（火）クラブ活動 タクト来校日
- 9日（水）読み聞かせ
- 10日（木）5年非行防止教室
- 15日（火）タクト来校日
- 17日（木）B5日課 給食終了 大掃除
- 18日（金）A3日課 第1学期終業式
- 22日（火）夏季休業（～8/26）
タクト来校日

8月の主な行事

- 5日（火）～20日（水）学校閉庁期間
 - 27日（水）A3日課 第2学期始業式
集団登校（9/9まで）
 - 28日（木）B4日課
 - 29日（金）B4日課
4年非行防止教室
- ★運動会は、10月18日（土）です。

体育館工事の様子を

見学しました！

工事請負業者様のはからいで、体育館改装工事の様子を見学させていただきました。足場がびっしり組まれた中で、壁や床が剥がれている様子に、タタメットを被った子どもたちは驚いていました。8月27日の始業式には子どもたちが一番乗りでリニューアルした体育館に入る予定です。全面改装で、ピカピカになった体育館での2学期開始。乞うご期待！



☆社家小学校の教育活動は、「海老名市立小中学校熱中症予防ガイドライン」に則り、熱中症の未然防止に努めてまいります。

☆校庭での体育の授業や校外学習の実施、休み時間の外遊び等については、本校基準のPOTEKA 観測地における、暑さ指数（WBGT℃）を確認し、以下の「熱中症予防運動指針」に則って判断いたします。

熱中症予防運動指針

WBGT℃	湿球温度℃	乾球温度℃		
31	27	35	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
▲▼	▲▼	▲▼	嚴重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分を補給する。暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28	24	31	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
▲▼	▲▼	▲▼	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
25	21	28		
▲▼	▲▼	▲▼	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。
21	18	24		
▲▼	▲▼	▲▼		

1) 環境条件の評価にはWBGT(暑さ指数とも言われる)の使用が望ましい。

2) 乾球温度(気温)を用いる場合には、湿度に注意する。
湿度が高ければ、1ランク厳しい環境条件の運動指針を適用する。

3) 熱中症の発症のリスクは個人差が大きく、運動強度も大きく関係する。
運動指針は平均的な目安であり、スポーツ現場では個人差や競技特性に配慮する。

※暑さに弱い人: 体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など。

【資料】熱中症予防運動指針（海老名市立小中学校熱中症予防ガイドラインより）